2024年１月第2週【1/12発行】　高校生用教材　　2024年は選挙の年：台湾・ロシア・アメリカの大統領選挙

模解と指導の手引き

教材のダウンロード期限について

　毎週金曜日の朝7：00に「ニュース教材を発行しました」というメールを、全ての購読者の皆さまにお送りしていますが、一部、メールの届いていない先生がいらっしゃるようです。　そのメールでは、以下のお願いをしています。

「できるだけ3週間以内に、教材をダウンロードして下さい。

もし期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」

InstagramまたはFacebookをお使いの皆さまには、毎週、金曜日のお知らせを出しているので、
メールが届かない方には、恐れ入りますが、どちらかをフォローしていただけますよう、お願いします。

★椿由紀　Instagram　 <https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/>

★椿由紀　Facebook 掲示板 「ニュースで学ぶ真の英語」

<https://www.facebook.com/groups/1893832927525144>

この教材の使い方について

（１）教材はWordファイルでリリースします。不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ、差し替え、加筆修正は自由です。先生方が授業で使いやすいように、お好きなように加工して下さい。

（２）「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。私の判断で、英語が良いと思った設問は英語に、日本語が良いと思った設問は日本語にしています。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。

（３）毎回、スペリングや文法ミスがないか、細心の注意を払っていますが、間違いに気付いたら、後からホームページに訂正版を出しています。申し訳ありません。もしスペルミスや文法ミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。

（４）全ての教材に、「この英文を暗唱しよう！」というページがあります。毎回、重要な文法や使える表現を含むキーセンテンス３～５文を選んでいます。これは「夢タン」などの参考書の著者として著名な木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道！」と教えていただいたことにより、8月から始めました。文を暗唱してから本文を読んでも、全文を読んでから仕上げに英文暗唱しても、どちらでも良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事

<https://time.com/6550920/world-elections-2024/>

<https://www.bloomberg.com/news/newsletters/2023-11-01/2024-is-election-year-in-40-countries-and-podcast-elon-inc-launches-next-week>

<https://www.aljazeera.com/news/2023/10/10/how-prepared-is-taiwan-for-a-war-with-china>

<https://www.bbc.com/news/world-asia-china-59900139>

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20231231_01/>

<https://fapa.org/taiwans-history-and-status-taiwan-has-never-been-a-part-of-china/>

<https://apnews.com/article/russia-vladimir-putin-president-election-f68dfd9139d232929e3da8db639a55c4>

<https://www.nbcnews.com/news/world/putin-presidential-candidate-russia-elections-rcna128692>

<https://www.gu.se/en/news/the-world-is-becoming-increasingly-authoritarian-but-there-is-hope>

<https://www.v-dem.net/documents/34/C4DReport_230421.pdf>

<https://www.msnbc.com/opinion/msnbc-opinion/abortion-amendment-florida-joe-biden-rcna124696>

<https://www.wsj.com/politics/elections/trump-takes-2024-lead-as-biden-approval-hits-new-low-wsj-poll-finds-fb4fca0c>

<https://www.bbc.com/news/world-us-canada-67285325>

<https://www.nytimes.com/2023/11/10/opinion/abortion-presidential-election-biden.html>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0a469d0fcd1217ba36926038ff3dd10d6852be35>

２ページ

Q1 40 ※The Guardian, Bloombergには「約40カ国」とありますが、TIMEには「64カ国」とあります。この教材では「40」を採用しました。

<https://www.theguardian.com/world/2023/dec/17/democracys-super-bowl-40-elections-that-will-shape-global-politics-in-2024>

<https://www.bloomberg.com/news/newsletters/2023-11-01/2024-is-election-year-in-40-countries-and-podcast-elon-inc-launches-next-week>

<https://time.com/6550920/world-elections-2024/>

Q2　It is an election to choose the leader of the country, such as the president or the prime minister.

* “national election”という言葉をグーグル検索したり、辞書で引いたりしても、頻繁に出てきませんが
（代わりに “general election”が表示されます）上記のThe Guardian, Bloomberg, TIME他、
複数のニュース記事で “national election”を見かけました。今回はこの言葉を使いたいと思います。

Q3 41%

Q4　(1)将来の地政学的動向　　(2)世界をリードする大国の関係

Q5 It is January 13th.

Q6 (1) (解答例)　The status of Taiwan is a complex and sensitive international issue. Taiwan considers itself an independent country, officially known as the Republic of China. However, China considers it a part of its territory. Many countries including Japan and the United Nations do not recognize Taiwan.

※台湾は、民主主義的な選挙を行っていて、大統領がいて、独立国のように見えますが、国連の加盟国ではありません。そもそも日本を含め、多くの国が台湾を独立国として承認していません。「国なのかどうか分からない」という微妙な状態だと、生徒さんたちに説明してあげて下さい。

(2) 台湾は本来、中国の一部なので、台湾との再統合を必ず成し遂げなければならない。そのためには、武力を用いることもありえる。

(3) 台湾はすでに独立国家なのだから、正式な独立を表明する必要はない。

※蔡英文大統領は、「統合」でも「独立」でもなく「現状維持」をしてきました。

Q7　台湾を中国と統合させること

Q8　c　　※習近平首席と蔡英文大統領の主張が真逆なので、(c)が入ります。

Q9 台湾国民の自由と生活様式を守ること

3ページ

Q10　(1)頼清徳氏（現在の副大統領）

(2) 中国と台湾は別国家である。

(3) 中国が言うところの「一つの中国原則」を支持していること。

※一つの中国原則…「中国大陸と台湾は一つの国家が不可分に統治しなければならない」とする政策的立場および主張。（Wikipediaより）

Q11 中国と台湾の間に戦争が起こる可能性がある

Q12 台湾と中国の間の緊張関係が、一時的に緩むことが予想される。

4ページ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 特徴 | 該当する国々 |
| democratic countries民主主義国 | 市民の権利を守ることを目指し、市民が法律を作り、自由かつ透明な選挙によりリーダーを選ぶことができる。 | 日本、イギリス、アメリカ、韓国、台湾、ウルグアイなど |
| authoritarian countries権威主義国 | 市民の承認無しに法律を制定し、宗教の自由や、言論の自由が制限されている | アフガニスタン、中国、北朝鮮、香港、タイ、シリアなど |
| hybrid countriesハイブリッド | 民主主義国と権威主義を組合せた国家制度。選挙を実施しながら、同時に弾圧も行っている。（形は民主主義国らしく選挙を行うが、選挙結果は最初から決まっている）※参考文献『黒化する世界』では、ハイブリッドの国々を「なんちゃって民主主義国」と定義づけていました。 | フィリピン、ロシア、エジプト、イラク、トルコなど |

★該当する国々については、下記の資料の39ページを参考にしました。

<https://www.v-dem.net/documents/29/V-dem_democracyreport2023_lowres.pdf>

★初めから資料を見せないで、生徒さんたちに「どの国がどこに分類されるか、類推してもらう」→「資料を見る」の順に、授業を進めていくと面白いと思います。

Q2　Vladimir Putin will. Q3 worse

Q4 (1) 72% (2) 13%

(3) この数値についてどう思うか、英語で書きましょう。私達は民主主義国の日本に住んでいますが、民主主義国家で暮らす市民は、何と世界人口の13％にすぎない、ということです。世界の７割が権威主義の国で暮らしていると資料は言います。高校生の皆さんはこのデータを見てどう思うでしょうか。

(4) 2002年から2022年にかけて、世界の民主主義指数を後退させる出来事がいくつかありました。
何があったか、生徒さんたちと一緒に思い出しましょう。

（例）参考文献『黒化する世界』[https://amzn.asia/d/aGoErSN](https://l.facebook.com/l.php?u=https%3A%2F%2Famzn.asia%2Fd%2FaGoErSN%3Ffbclid%3DIwAR31tAuJdizq4aBAaTSRsG4Ugahqco8mGeHQEkT04IfPDB7Y8IArvrxOG6g&h=AT2hEJx_NgVtz2Lz6S0oCQ2kWM7C55mIX7xVXc0cf6luqzE21KsHCME15_IHDsXihmR1J-p-gnVkDpW5GTocIhWk7MbKwrB9IAS9KNHQugt0esyThkost924XDl-qdylplmd&__tn__=-UK-R&c%5b0%5d=AT0bZYeipY7T7S-03lMGVAfSwKcCJUSDNb1u006rEIW1BwT74RcgOVVbs2ziPvBbvSqFx5Fhl7Iap-7rq2eWwHMothZDQZe-oH926mYJQFQVOamnX1k6rHfhlkUtxHBJ--ddwOQz4MSZHl9oTwMzoQpTMwTpKzl0Z5C625yj2e9Z0ZorvYT1zvbKdjojSVX4wPLRz0z6MlxXJ_3ABIXUmWI)

●June 2020：Hong Kong National Security Law was passed, and there is no freedom of speech in Hong Kong. （香港で国家安全法が成立し、言論の自由が香港で消える）※12月第４週の高校生ニュース

●August 2020：In the presidential election of Belarus, Lukashenko won a landslide victory, and it sparked mass protests, which was suppressed by force. (2020年8月、ベラルーシでルカシェンコ大統領が当選。彼は1994年から大統領をしている。反対デモは武力で弾圧される)

●February 2021：The Myanmar military launched a coup against the civilian government, and the military government has ruled the country. （ミャンマーでクーデター、軍事政権が復活）

●August 2021：In Afghanistan, Taliban took power again.

※これ以外に、インド（宗教を民族主義的戦略に活用）、ジェンダー公平性を攻撃したり、LGBT差別等が激しいハンガリー、ポーランド、トルコ等、さらにブラジル、フィリピン、スロベニア等が、民主主義指数を後退させている、といった見方もあるようです。　参考資料：　<https://rief-jp.org/ct12/120193>

５ページ

Q1　It is 5th November.

Q2

|  |  |
| --- | --- |
| Democratic Party | Joe Biden |
| Republican Party | Donald Trump |
| Independent | Robert F. Kennedy（ケネディ大統領の甥） |

Q3 Trump is.

Q4 (1) 女性の妊娠中絶の権利に反対。2016年の大統領選挙の際は「妊娠中絶をした女性は罰を受けるべきだ」と公言した。

(2) 「女性は、中絶を選ぶ基本的人権を持つと私は信じている」と言っている。

(3) 妊娠中絶は違憲だと正式に宣言した。

※アメリカでは、1973年の「ロー対ウェイド」判決において、女性の人工妊娠中絶券は合憲だとしてきた。

ところが、2022年6月、最高裁はその判決を覆し、「中絶は違憲」とした。これにより、アメリカの各州は、それぞれ独自の州法で中絶を禁止できるようになった。

Q5　女性は、中絶を選ぶ権利を持つべきだと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

解答例（１）

★I think women should have the right to abortion. Everyone has bodily autonomy and freedom to choose what to do about their life. In addition, legal access to safe abortions promotes women's health and well-being. If women have the right to abortion, it will lead to reducing unwanted babies, too.

解答例（２）私の高校時代の倫理の先生が、敬虔なカトリック教徒で、妊娠中絶の権利に反対していました。彼の意見を参考にNoの立場の解答例を書きます。

★I oppose abortion mainly because of my religious belief. I think all human life is valuable, and even the life of an unborn baby should never be killed. I think taking the life of an unborn baby is a murder, because it violates the fundamental rights to life. Besides, there is an alternative way, such as adoption, to save babies.

6ページ アメリカの民主党（バイデン派）と共和党（トランプ派）の考え方の違いを、整理しましょう。

QUIZ: Democrat vs. Republican　模範解答

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | Democrat | Republican |
| color | Blue | Red |
| 2020 Presidential Nominee | Joe Biden | Donald Trump |
| Traditionally strong in states | California, Massachusetts, New York※移民が多い都会、学歴の高い人の多い地域は、民主党が強いというイメージ | Oklahoma, Kansas, Texas※田舎や農村の地方は、保守的な白人が多いというイメージ |
| Famous Presidents | Franklin Roosevelt, John F. Kennedy, Bill Clinton, Barack Obama※国民皆保険制度を実施しようとしたオバマさん、銃規制に積極的なクリントンさんは、民主党 | Abraham Lincoln, Teddy Roosevelt, Ronald Reagan, Richard Nixon |
| Philosophy | liberal, left-leaningリベラルで左寄り | conservative, right-leaning保守的で右寄り |
| Stance on Taxes | They support the progressive taxation system. (They think rich people should pay higher taxes.)※民主党は、累進課税制度（所得の多い人ほど、たくさん税金を納める制度）を支持。 | They believe taxes shouldn't be increased for anyone including the wealthy people. ※共和党の人は、「お金持ちの人がたくさん税金を納めるのはおかしい。みんな同じくらいの税金を払うべき。そもそも政府は市民の経済活動に干渉するな！」というスタンス。 |
| Stance on Stronger Gun Control | Support銃規制に賛成 | Oppose反対 |
| Stance on Gay Marriage | Support同性同士の結婚に賛成※ちなみにアメリカでは2015年から、全州で同性婚が認められている。 | Oppose反対。LGBTQの人々の権利擁護に熱心ではない。 |
| Healthcare run by the government | Support※「医療費は国が負担すべき（＝国民からの税金で支えるべき）」の考えのもと、オバマさんはオバマケア（2014年から開始）と呼ばれる医療保険制度（貧しい人を含め全国民の医療費を補助するもの）を作りました。 | Oppose※フルタイムで雇用され職場の保険に加入している人、自営業で高額の自己負担保険を買って入っている人、つまり既存の「民間の医療保険に加入している人」とは、国の保険なんてなくても生きていける。オバマケアは要らない |
| Stance on Immigration | They think they should treat immigrants with respect, because America is a nation of immigrants.　「アメリカは移民が作ってきた国だ」の認識があり、移民に対してそれほど排他的ではない。 | They think restricting immigration makes the US safer.※基本的なスタンスは、「移民が入ってくると治安が悪くなる。移民は入ってくるな。壁を作れ」 |